



2010年1月5日

各位

MediciNova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一
(コード番号: 4875 大証ヘラクレス)
問合わせ先 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号 03-3519-5010
E-mail info@medicinova.com

転換可能有価証券の初回の転換通知受領期日延長に関するお知らせ

2010年1月5日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一) は、2011年満期の変動利付担保付転換可能有価証券 (Floating rate secured convertible notes due 2011) の初回の転換通知受領期日を2009年12月31日から2010年1月11日 (米国東部標準時間) に延長したことをお知らせいたします。

メディシノバの完全子会社によるアヴィジェン社の買収が完了した時点で合併の対価として、当社は29,445,824.82米ドルの転換可能有価証券を発行しました。転換可能有価証券が準拠する発行契約書では保有者は毎月、撤回不能の転換通知を提出して、当初転換価格1株当たり6.80米ドルとして転換可能有価証券をメディシノバの普通株式に転換を信託者に指示することができます。転換日は一般的に各暦月の最終営業日に当たります。

しかし、昨年末の買収完了に続き、銀行、ブローカー、その他の名義人 (仲介名義人) の名義となっている転換可能有価証券をそれぞれ個人と法人の口座に入庫する作業が継続して行われているため、メディシノバは初回の転換通知受領期日である2009年12月31日を延長し、締め切りを2010年1月11日 (米国東部標準時間) の営業終了時点とします。今回の延長が以後の転換日へ影響を及ぼすことはありません。

銀行、ブローカー、その他の名義人 (仲介名義人) を通じて転換可能有価証券を保有されている個人と法人投資家の方々に、転換通知の提出方法について説明を受けたい場合には、それぞれの仲介名義人にご連絡ください。

以上

メディシノバ (MediciNova, Inc.) は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD (慢性閉塞性肺疾患)、多発性硬化症、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁および血栓症など、多様な疾患の治療を目的とする臨床段階の化合物が揃っております。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950 (電話 1-858-373-1500) です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素および当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものがあります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまります。当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。